

伊那電車軌道(後の伊那電気鉄道) / Ωカーブ

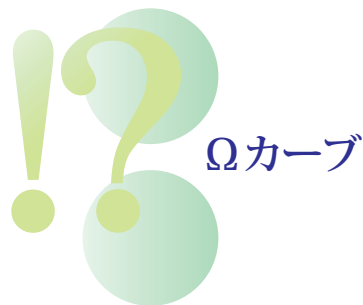
伊那谷の悲願が生んだΩカーブ

伊那電車軌道は1909(明治42)年に一部開通した長野県で最初の民営鉄道。汽車ではなく電車方式による鉄道である。1892(明治25)年に中央線敷設が決定され、伊那谷と木曾谷の間で誘致争いが起こった。伊那谷側にはいくつかの鉄橋が必要であり、工事費が高む上、名古屋への最短ルートではないなどの理由により、誘致は叶わなかった。伊那電車軌道は、当時隆盛を極めていた蚕糸業(製糸・養蚕・蚕種製造)の輸送を担うため、飯田の漆器商・伊原五郎兵衛等の尽力により開設された。長い鉄橋架設には膨大な費用がかかるため、短い橋で川を渡ることのできるよう上流まで迂回するルートが設計された。現在も当時のルートがそのまま残り、「Ωカーブ」として全国的に有名である。



中田切川を美しいカーブで越える

上空より眺めるΩカーブ



建設費を抑えるために、大きな土工、大きな橋、トンネルを避けるように地形に逆らわずに線路を敷いた。そこで、田切地形にぶつかると、急こう配で上流に向かって谷底近くまで下りてゆき、短い橋りょうで溪流を渡ってから、今度は急こう配で下流に向かって上り、もとの段丘上のレベルに戻る。その結果、Ω形の線路ができあがった。

中田切川を越える地点は、美しい南駒連峰を背景に、回り込むように走行する列車が見られるポイントとして、鉄道ファンにも人気がある。

伊那電車軌道(のちの伊那電気鉄道)略年表

1895(明治28)年	辰野～飯田間の電車鉄道の敷設を申請
1907(明治40)年	伊那電車軌道株式会社創立
1908(明治41)年	鉄道工事を開始
1909(明治42)年	辰野～伊那松島間が開業
1912(大正元)年	伊那まで開業
1919(大正8)年	社名を伊那電車軌道から伊那電気鉄道に変更
1920(大正9)年	上伊那郡下が全線開通
1923(大正12)年	辰野～伊那松島間の新線が開業 飯田駅まで開業
1924(大正13)年	飯田電気鉄道から飯田～下川路までの 鉄道敷設権をえる
1927(昭和2)年	天竜峡まで開業
1936(昭和11)年	三信鉄道と連結
1943(昭和18)年	政府に買収され、国鉄飯田線となる

information

□ アクセス

JR飯田線飯島駅から
5km
車→10分

□ 所在地

飯島町



(国土地理院の数値地図50000(地図画像)を使用)